

国際理解教育/開発教育 学習指導（活動）案

【実践者】長山 愛美

授業者氏名	長山 愛美	学校名	弟子屈町立弟子屈小学校
教科（科目）・領域	道徳	対象学年（人数）	2年 A組（39名）
実践年月日もしくは期間（時数）	2019年 2月～3月（4時間）		

【実施概要】

1. 単元名(活動名)：「ありがとう」をもっとふやそう！日本のことつたえ隊！						
2. 実施する教科・領域：道徳		3. 学習領域				
※教科学習での取り組みか、総合学習での取組か、関連させたものを明示してください。			1	2	3	4
		A多文化社会	文化理解	文化交流	多文化共生	
		Bグローバル社会	相互依存	情報化		
		C地球的課題	人権	環境	平和	開発
		D未来への選択	歴史認識	市民意識	社会参加	
4. 単元の目標（評価規準を意識して設定）：スリランカの人々の生活や文化に関心をもつと共に、自分たちの生活や文化をスリランカの人に伝えるためのメッセージビデオを作成する。						
5. 単元の 評価規準	①知識及び技能	スリランカという国の人々の生活や文化に関わりたいという思いをもったりすることができる。				
	②思考力、判断力、表現力等	スリランカの人々へ自分たちの生活や文化を伝えるためにメッセージビデオを考えて作成することができる。				
	③学びに向かう力、人間性等	スリランカの人々の生活や文化に関心をもち自分たちの生活や文化も積極的に伝えようとする姿勢をもつ。				
6. 単元設定の理由・単元の意義 (児童/生徒観、教材観、指導観)	<p>【単元設定の理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今回の研修で私自身が色々な人々と出会い、良い時間を過ごしたと感じた。児童たちにも遠く離れたスリランカの人々と関わる体験をすることで、他国や色々な文化にもっと親近感を持って欲しい。 <p>【単元の意義】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童たちが直接、他国の人々につながる文化交流をすることで、自分とは異なる文化に関心をもつことをねらいとする。また、他文化に親しみをもつことを通し、学年や性別、性格が違う身近な人々と積極的に関わったり、関わることの大切さに気付かせたりしたい。 <p>【児童/生徒観】</p> <ul style="list-style-type: none"> 弟子屈小学校の2年生は明るく、学習に積極的な子が多い一方で、色々な考え方をしている子が多くいる学級でのコミュニケーションに支援が必要な子も一部いる。国外はもちろん他県や町外の文化や人々と接する機会が少ないものの、他国に興味をもち本などで国名や国旗を調べようとする児童も多いことから、本単元を通し、自分とは異なる価値観をもった人々と関わることの楽しさに気付くきっかけにしていきたい。 <p>【指導観】</p> <ul style="list-style-type: none"> 他国の文化に興味をもつためのきっかけとして写真や具体物など子どもが親しみやすい物を通してスリランカに関心をもたせる。また、自分たちが作った折り紙にスリランカの人が喜んでくれた動画を見せ、間接的に自分たちが相手を喜ばせたという感覚から「もっとスリランカの人と関わりたい。」という思いをもたせ、文化交流の意欲につなげる。 					

7. 単元計画（全3時間）			
※全体の総時間数は適宜変更してください。			
時	ねらい	学習活動	資料など ※:JICA リソース活用はここに記載
1	・スリランカに関する具体物や動画を通して衣服や食べ物, などの文化に関心をもつ。	<p>「スリランカ」を見てみよう, やってみよう！」</p> <p>①担任が行ってきた国について思い出す。</p> <p>②スリランカの子どもがスリランカを紹介していく形の PP を見ながら, 日本との同じやちがいを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本とは違う服だね。 ・自然がいっぱいで弟子屈に似ているな。 ・カレーを手で食べているよ。 <p>③衣服や紅茶など具体物に触れる体験をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一枚の布なのに服になるんだね。 <p>④出会った人々からのメッセージビデオを見る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私たちが作った折り紙を喜んでくれているね。 ・日本語を話しているよ, 嬉しいな。 <p>⑤スリランカについてわかったこと日本との同じや違い, もっと知りたいことを振り返りワークシートに書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・写真等を活用した PP ・衣服, 紅茶, お金, 本などの具体物 ・スリランカからの折り紙に対するお礼のメッセージビデオ
2	・スリランカの人たちともっと関わりたいという思いを持ちながら, スリランカの人たちに伝えたい日本の文化を考える。	<p>①児童たちの振り返りから, スリランカを知りたい, 人々ともっと関わりたいと感じた人がいることを伝える。</p> <p>②PP 資料でスリランカの人たちも日本の文化を知りたいと考えていることから, 自分たちと意思が同じことに気付かせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私たちはスリランカのことを知れたから次は伝えたいね! ・もっとスリランカの人と仲良くなりたいな! <p>『ありがとう』をもっと増やそう! 日本のことを伝え隊」</p> <p>③日本の伝えたいことを子どもたちから引き出ししながら, いくつかのテーマにまとめる。</p> <p>④伝えたいテーマを決め, 個人でどのように伝えるかを考える。</p> <p>⑤テーマごとのグループに分かれ, 伝え方を発表形式で交流する。</p>	PP 資料
3	・日本の文化をどのようにスリランカの人々に伝えるか考えている。	<p>日本のことをどうやって伝えるか話し合おう。</p> <p>①メッセージビデオの完成イメージを全体で共有する。</p> <p>②グループに分かれてどのようにメッセージビデオを作るか話し合う。</p> <p>③全体で話し合ったことを交流する。</p> <p>④振り返りをする。</p>	
4	・グループで考えた伝え方をもとに, スリランカの人々に自分の思いを伝えようとしている。	<p>①グループに分かれ, メッセージビデオの撮り方を確認する。</p> <p>②メッセージビデオを撮る。</p> <p>③振り返りをする。</p>	

8. 本時の展開 (2時間目)			
本時のねらい: スリランカの人たちと もっと関わりたいという思いを持ちながら, スリランカの人たちに伝えたい自分たちの生活や文化を考える。 ※過程の網掛け部分は適宜変更下さい。			
過程・時間	教師の働きかけ・発問および学習活動	指導上の留意点 (支援)	資料 (教材)
導入 (10分)	1. スリランカについて学んだことを思いだし, 振り返りから, スリランカを知りたい, 人々と関わりたいと感じた人がいることを伝える。 2. PP 資料でスリランカの人たちも日本の文化を知りたいと考えていることから, 自分たちと思いが同じことに気付かせる。 「スリランカの人たちがもっと日本のことを知りたいてって言うていたんだけど何がしたい?」 ・私たちはスリランカのことを知れたから次は伝えたいね! ・もっとスリランカの人と仲良くなりたいから手紙はどうか! 「『ありがとう』をもっと増やそう! 日本のことをつたえ隊」	・スリランカの人々が自分たちと同じように日本に興味をもっていることを感じさせながら, スリランカの人々と関わりたいという思いをもてるようにする。 ・日本の伝えたいことを思いつけるように, 前時にスリランカについて知ったことを思い出す。 ・今まで学んできた事柄を生かせるように, 学習や学校生活に関連させながらテーマをまとめていく。	・PP 資料 (スリランカの人が日本の天ぷらやラーメンが好きだと話している動画や, 興味のあるものを話しているような形式で提示する。)
展開 (30分)	3. 日本の伝えたいことを子どもたちから引き出しながら, いくつかのテーマにまとめる。 「日本の何を伝えたらスリランカの人にはありがとうって思うかな?」 ・雪について伝えたいな! ・天ぷらが好きって言うてたから食べ物や給食は喜んでくれるかも! ・校歌を教えてあげると面白いかな。		
テーマ例: 音楽, (手) 遊び, 運動, 勉強, 文字, 昔話, 雪, 食べ物 など			
	4. 伝えたいテーマを決め, その中で何を伝えたいか個人で考える。 「テーマを選んで, 伝えたいことを3つ考えてみよう。」 ・運動では, なわとびや鬼ごっこはどうか。 ・音楽は習った歌も喜んでくれるかな? 5. テーマごとのグループに分かれ, 考えたものを発表形式で交流し, 良いもの一つを選ぶ。 「グループで話合って, これはスリランカの人に伝えたいと思うことを一つ選んでみよう。」 ・給食を紹介するのはいいアイデアだね。 ・雪を見せると, びっくりしてくれるかもね。	・スリランカへ伝える形式は, 5分以内のビデオメッセージにするなどの完成のイメージを共有できるように伝える。 ・選んだことはグループから一言ずつで良いので発表できるようにする。	・個人思考用ワークシート
まとめ (5分)	6. ワークシートに振り返りを書く。 ・友達の話にあった, 校歌を伝えるっていうのは良いアイデアだと思ったよ。 ・悩んでたけど, 友達のアイデアを聞いたら真似したくなったよ。 ・わたしはなわとびを伝えたいな。	・友達の意見をふまえて振り返ることができるように視点を伝える。	・振り返り用ワークシート

<p>9. 評価規準に基づく本時の評価（評価方法）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スリランカという国の人々の生活や文化に関わりたいという思いをもって意欲的に発言している。 ・スリランカの人々へ自分たちの生活や文化を伝えるためにメッセージビデオを考えて作成しようと話し合っている。 ・スリランカの人々の生活や文化に関心をもち自分たちの生活や文化も積極的に伝えようとする姿勢をもって学びに向かっている。
<p>10. 学習方法および外部との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・St.Poul College（コロンボにある国立の女学校）の日本語を学んでいる12～13年生と、学校視察の交流の際に、児童からのプレゼントを渡したり、女学校の生徒がプレゼントを喜びお礼を話したりする様子を動画で撮影した。 ・授業後、女学校の先生を通じ、弟子屈小学校からのビデオメッセージを送る予定で進めている。
<p>11. 学校内外で国際理解教育・授業実践を広める取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修前後含めて、本校で国際理解教育についての資料を回覧しました。 ・研修後の実践授業では、全校の教員に実践を周知し、多くの教員が授業を参観しました。 ・他学年の担任とも連携し、スリランカの文化に関する授業を他学年でも実践しました。

【自己評価】

<p>12. 苦労した点</p>	<p>ビデオレターを送るにあたり、何をスリランカの人々に伝えるかを考える際に「日本のこと」を伝えるのか「自分たちの町のこと」や「自分たちのこと」を伝えるのかの範囲の設定に悩みました。最終的に、低学年の児童にとっては日本らしさや自分たちの町らしさを具体的にとらえるのは難しいと考え、ねらいの範囲としては「自分たちの生活や文化」と設定した上で、児童たちに『スリランカの人たちが知りたがっていたこと。』をいくつかヒントとして候補にあげることで児童たちが困らずに何をスリランカの人々に伝えるかが決まりました。</p>
<p>13. 改善点</p>	<p>担任外の学級での実践授業だったこともありますが、授業が進み、ビデオを撮影する活動では人手が必要になった場面がありました。本指導案では1時間で撮影をすると設定していますが、ビデオの個数や撮影場所によっては時間や別な教員の補佐があるとよりやりやすいと思います。</p>
<p>14. 成果が出た点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1時間目の終了時に児童たちから出た「もっとスリランカを知りたい。」などの感想と、スリランカの学生たちと授業者が話した際の言葉となる「もっと日本を知りたい。」といった言葉を視覚的に提示し、比較させることで児童たちが「スリランカの人と自分たちの気持ちは同じなんだ。」と気づくことができました。それにより、児童たちがスリランカの人たちの気持ちを考えながら学習に向かうことができました。 ・導入によって意欲が高まったことにより、話し合う場面ではどの子も積極的に発言し、非常に良い姿が多く見られました。

<p>15. 学びの軌跡 (児童生徒の反応、感想文、作文、ノートなど)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の導入時では「ゾウに会ってみたい。」と国についての感想のみ話していた子が、スリランカの人たちの自分たちの考えは同じだと気付くことを通し、「スリランカの人たちは雪に興味があるらしい。」ということ伝えた際には「そっか、確かに！スリランカは暑いからね。」と、スリランカの人々の環境や気持ちを考えた上で発言をしていました。また、ビデオメッセージでもスキーウェアを紹介し、「これは雪で遊ぶときに使う。」と雪に関連させながら説明をしていました。 ・折り紙を紹介するグループから、「スリランカにいない動物を教えてあげたいから調べさせてほしい。」といった希望が出たり、料理を紹介するグループでは「スリランカは暑いから冷たい料理を教えてあげたら喜ぶかな。」といった発言が聞こえたりするなど児童全体的に、学習が進むほどスリランカの人々の立場に立った発言が増えました。
<p>16. 授業者による自由記述</p>	<p>今回の研修を通し、初めて国際理解教育の授業実践をさせていただきました。スリランカの人々と児童の気持ちを視覚的に提示した際に、児童たちが「スリランカの人たちと僕たちの気持ちって同じだ！」と口々に発言する様子は非常に印象に残っています。一方で感想を書く時間がわずかしかとれなかった授業もあり、自分の授業展開を反省する場面もありました。また、それぞれのグループでどんなビデオメッセージにするか話し合う活動については、児童がメッセージを送る相手を考えながら話し合えるのか、また話し合いが止まってしまうかどうか気がかりでした。しかし、導入等で意欲が高まっていたこともあってか、どの子もよく発言し、話し合うことができ、担任ではありませんが普段見ている児童たちの力の伸びを改めて感じました。</p> <p>アドバイザーの先生等から指導を受けながら実践ができる貴重な機会をいただき、嬉しく思います。今回の経験をきっかけに、本時の実践をより改善し深めたり、新たな実践に挑戦したりしていきたいと思っております。</p>

参考資料：

スリランカを思い出そう！

① ස්තූතියි
(ストウティー)
→ありがとう

② මගේ නම මනම්.
(マゲー ナマ マナミ)
→わたしの 名前は まなみです。

සසාකි ජුන්කි
ササキ ジュンキ

おともだちに なったよ！



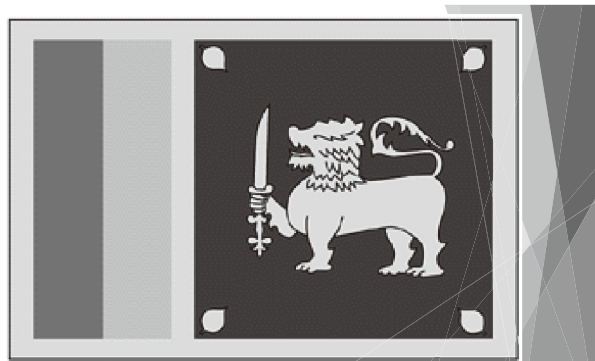


- おり紙をもらって、うれしかった。
- もっと日本のことを知りたいな。
- 日本に行ってみたいな。
- 日本人たちと友だちになりたいな。



- スリランカはあつい国なので、雪を見てみたい！
- 歌やおどりが好きなので、日本の歌も知りたい！
- 日本の楽しいあそびを知りたい！

見てみよう！
やってみよう！スリランカ



① ස්තුතියි
(ストウティー)
→ありがとう

② මගේ නම මනමි.
(マゲー ナマ マナミ)
→わたしの 名前は まなみです。

සසාකි ජුන්කි
ササキ ジュンキ



おともだちに なったよ！



プニーちゃん
小学2年生



しぜんが いっぱいの国だよ！
でも 場所によっては
たてものが いっぱいで とかいなの！



町の中には犬や牛がいるの。
ほかのどうぶつも 道で会えることがあるよ。



ラッキーなときには
ソウに会えることもあるのよ！



これが
スリランカの
カレーだよ！

日本のカレーと
どんなところが
ちがうかな？





では、次は「やってみよう！」

